



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 松本油脂製薬株式会社
コード番号 4365 URL <https://www.mtmtys.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 直樹
問合せ先責任者 (役職名) 管理部副部長 (氏名) 勘田 浩之
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 072-991-1001

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	31,994	2.9	6,831	6.2	8,074	1.0	5,658	0.7
2023年3月期第3四半期	31,094	14.0	6,435	59.6	7,994	58.8	5,621	56.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 7,359百万円 (24.8%) 2023年3月期第3四半期 5,896百万円 (44.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	1,950.15	
2023年3月期第3四半期	1,737.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	85,706	72,789	82.6
2023年3月期	79,190	66,470	81.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 70,835百万円 2023年3月期 64,693百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		350.00	350.00
2024年3月期(予想)				350.00	350.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,550	0.2	7,000	10.0	7,100	25.0	4,900	32.4	1,688.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	4,512,651 株	2023年3月期	4,512,651 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,611,167 株	2023年3月期	1,610,915 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	2,901,598 株	2023年3月期3Q	3,235,427 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類」に変更され行動制限が緩和されたことにより、消費活動の活発化やインバウンド需要の急回復などが見られ、物価高によるマイナス影響もありながら経済活動が緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で世界的な物価上昇に伴う金融引締め等の影響による円安の進行、原材料価格の高騰、高まる地政学リスクの長期化等、景気の先行きが見通しにくい状況であります。

当社グループとしましては、世界的な経済環境の不安定さと変動リスクの長期化を踏まえ、引き続き高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、新規顧客・用途開拓活動の推進により収益の維持・向上を進めているところであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、当期より台湾の子会社の業績を組み込んだことに伴い売上高31,994百万円(前年同四半期比2.9%増)、営業利益6,831百万円(前年同四半期比6.2%増)、円安による外貨建預金等の換算替えを行い為替差益を683百万円計上したことにより、経常利益8,074百万円(前年同四半期比1.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,658百万円(前年同四半期比0.7%増)となりました。

セグメント情報に記載された区分ごとの状況

前期比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。ただし、「アジア」セグメントは、実務上前期の数値を組み替えることが困難なため前期比較を記載しておりません。

① 日本

日本における当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は30,006百万円(前年同四半期比1.4%減)、セグメント利益(営業利益)は6,594百万円(前年同四半期比2.9%増)となりました。

陰イオン界面活性剤の分野につきましては、海外向けは総じて堅調でしたが、国内繊維分野は染色加工分野では前年並みに推移したものの、短繊維用途は海外品拡大の影響で販売は低調となり、外部顧客に対する売上高は2,701百万円(前年同四半期比7.3%減)となりました。

非イオン界面活性剤の分野につきましては、海外向けは総じて堅調でしたが、国内繊維分野においては昨年好調であったスポーツ関連向けは縮小に転じ、カジュアル衣料向けも引き続き低調でした。国内非繊維分野は物価高による生活雑貨類の消費抑制等の影響もあり前年同期を下回る販売となり、外部顧客に対する売上高は18,410百万円(前年同四半期比1.3%減)となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野につきましては、国内でのシャンプー・家庭用洗剤向けは好調に推移しましたが海外向けは低調となり、外部顧客に対する売上高は627百万円(前年同四半期比11.1%減)となりました。

高分子・無機製品等の分野につきましては、国内繊維分野では産地・用途により差があるものの原料高騰分を価格転嫁することで売上は改善できました。非繊維工業関連では欧州景気悪化の影響を受け需要が縮小した用途もありましたが、自動車メーカーの生産回復に伴い自動車部品向けの出荷が回復基調となり、結果として前年同期を上回る販売となり、外部顧客に対する売上高は8,266百万円(前年同四半期比1.3%増)となりました。

② アジア

アジアにおける当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は1,987百万円、セグメント利益(営業利益)は233百万円となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、外部顧客に対する売上高は4百万円となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、外部顧客に対する売上高は399百万円となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、外部顧客に対する売上高は9百万円となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、外部顧客に対する売上高は1,574百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比6,516百万円（8.2%）増加して、85,706百万円となりました。流動資産は前期末比2,878百万円（4.7%）増加の64,666百万円、固定資産は前期末比3,637百万円（20.9%）増加の21,040百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、有価証券が4,998百万円、商品及び製品が425百万円減少したものの、その他が5,749百万円、受取手形及び売掛金が2,015百万円それぞれ前期末より増加したことによるものであります。

固定資産増加の主な要因は、機械装置及び運搬具が104百万円減少したものの、投資有価証券が3,268百万円、建設仮勘定が324百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比197百万円（1.6%）増加の12,917百万円となりました。流動負債は、前期末比497百万円（4.6%）減少の10,425百万円、固定負債は前期末比694百万円（38.7%）増加の2,491百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、その他が446百万円、買掛金が151百万円増加したものの、未払法人税等が930百万円、賞与引当金が164百万円それぞれ前期末より減少したことによるものであります。

固定負債増加の主な要因は、繰延税金負債が713百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比6,318百万円（9.5%）増加して72,789百万円となりました。純資産増加の主な要因は、利益剰余金が当四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により5,658百万円増加した一方、配当金の支払により1,015百万円減少したことや、その他有価証券評価差額金が1,367百万円前期末より増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前期末の81.7%から82.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、現時点において2023年8月10日に公表の業績予想に変更はありません。

第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益がともに連結通期予想を上回っておりますが、今後の経済状況、為替の動向等、先行きの見通しにくい状況が続いていることから、前回公表予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,882	26,359
受取手形及び売掛金	9,069	11,085
電子記録債権	249	375
有価証券	20,000	15,001
商品及び製品	3,419	2,993
仕掛品	723	767
原材料及び貯蔵品	1,726	1,619
その他	733	6,482
貸倒引当金	△17	△19
流動資産合計	61,787	64,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,889	9,157
減価償却累計額	△6,234	△6,410
建物及び構築物（純額）	2,655	2,746
機械装置及び運搬具	15,304	15,677
減価償却累計額	△12,692	△13,170
機械装置及び運搬具（純額）	2,612	2,507
土地	1,619	1,644
建設仮勘定	97	422
その他	1,519	1,546
減価償却累計額	△1,343	△1,363
その他（純額）	175	182
有形固定資産合計	7,160	7,502
無形固定資産		
その他	24	17
無形固定資産合計	24	17
投資その他の資産		
投資有価証券	9,279	12,548
繰延税金資産	9	10
その他	932	964
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	10,218	13,519
固定資産合計	17,402	21,040
資産合計	79,190	85,706

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,547	7,698
未払法人税等	1,753	823
賞与引当金	337	172
その他	1,284	1,731
流動負債合計	10,922	10,425
固定負債		
退職給付に係る負債	1,064	1,044
資産除去債務	118	119
繰延税金負債	530	1,244
その他	82	82
固定負債合計	1,796	2,491
負債合計	12,719	12,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,518	6,518
利益剰余金	62,164	66,807
自己株式	△12,126	△12,129
株主資本合計	62,646	67,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,261	3,629
為替換算調整勘定	△194	△61
退職給付に係る調整累計額	△20	△18
その他の包括利益累計額合計	2,046	3,549
非支配株主持分	1,776	1,953
純資産合計	66,470	72,789
負債純資産合計	79,190	85,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	31,094	31,994
売上原価	21,531	22,009
売上総利益	9,563	9,985
販売費及び一般管理費	3,128	3,153
営業利益	6,435	6,831
営業外収益		
受取利息	3	14
受取配当金	145	195
持分法による投資利益	62	132
為替差益	1,089	683
その他	263	237
営業外収益合計	1,564	1,263
営業外費用		
支払利息	0	14
支払手数料	3	3
その他	2	4
営業外費用合計	5	21
経常利益	7,994	8,074
特別利益		
固定資産売却益	0	0
移転補償金	27	-
特別利益合計	27	0
特別損失		
固定資産除却損	10	2
棚卸資産廃棄損	22	-
特別損失合計	33	2
税金等調整前四半期純利益	7,987	8,071
法人税、住民税及び事業税	2,266	2,216
法人税等調整額	87	109
法人税等合計	2,354	2,325
四半期純利益	5,633	5,745
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	87
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,621	5,658

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	5,633	5,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122	1,367
為替換算調整勘定	76	244
退職給付に係る調整額	△19	1
持分法適用会社に対する持分相当額	83	0
その他の包括利益合計	263	1,613
四半期包括利益	5,896	7,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,858	7,160
非支配株主に係る四半期包括利益	38	198

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
陰イオン界面活性剤	2,915	10	2,925
非イオン界面活性剤	18,654	410	19,064
陽・両性イオン界面活性剤	705	6	712
高分子・無機製品等	8,159	232	8,391
顧客との契約から生じる収益	30,435	659	31,094
外部顧客への売上高	30,435	659	31,094
セグメント間の内部売上高 又は振替高	316	27	343
計	30,751	686	31,438
セグメント利益	6,407	44	6,451

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,451
棚卸資産の調整額	△16
四半期連結損益計算書の営業利益	6,435

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	アジア	
売上高			
陰イオン界面活性剤	2,701	4	2,706
非イオン界面活性剤	18,410	399	18,809
陽・両性イオン界面活性剤	627	9	636
高分子・無機製品等	8,266	1,574	9,841
顧客との契約から生じる収益	30,006	1,987	31,994
外部顧客への売上高	30,006	1,987	31,994
セグメント間の内部売上高 又は振替高	306	18	325
計	30,313	2,006	32,319
セグメント利益	6,594	233	6,828

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,828
棚卸資産の調整額等	3
四半期連結損益計算書の営業利益	6,831

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「日本」「インドネシア」の区分から、「日本」「アジア」の区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間および当第3四半期連結累計期間の報告セグメントを、それぞれの比較対象となる期間と同条件で作成することは実務上困難なため、当該情報については開示を行っておりません。